

# 令和4年度下半期 東秩父村簡易水道事業 業務状況報告書

## 1. 事業の概況

### 業務量

本年度の配水量は348,720m<sup>3</sup>、有収水量は268,220m<sup>3</sup>、有収率は76.9%でした。

種別	R4下半期	R4期末	R3期末	増減
配水量 (m <sup>3</sup> )	177,288	348,720	376,474	△ 27,754
1日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	974	955	1,031	△ 76
有収水量 (m <sup>3</sup> )	135,652	268,220	267,783	437
有収率 (%)	76.5	76.9	71.1	5.8

### 工事内容

本年度の工事契約件数及び契約額は下記の通りです。

科目	契約件数	契約金額
	件	円
建設改良費	2	7,654,900

## 2. 経理の状況

### 【予算執行状況】

(令和4年10月から令和5年3月31日まで)

#### 収益的収入及び支出

##### 収入

(単位：円、税込)

予算科目	予算現額	当期執行計	執行累計額	執行率(%)
簡易水道事業収益	148,365,000	102,638,326	155,917,928	105.09
営業収益	45,973,000	24,717,970	46,410,220	100.95
営業外収益	102,392,000	77,920,356	109,507,708	106.95
特別利益	0	0	0	0.00

##### 支出

(単位：円、税込)

予算科目	予算現額	当期執行計	執行累計額	執行率(%)
簡易水道事業費用	140,005,000	93,211,725	134,198,626	95.85
営業費用	135,398,000	91,418,772	131,110,495	96.83
営業外費用	3,451,000	1,193,392	2,488,570	72.11
特別損失	600,000	599,561	599,561	99.93
予備費	556,000	0	0	0.00

#### 資本的収入及び支出

##### 収入

(単位：円、税込)

予算科目	予算現額	当期執行計	執行累計額	執行率(%)
資本的収入	17,007,000	16,842,000	16,930,000	99.55
補助金	16,754,000	16,754,000	16,754,000	100.00
負担金	253,000	88,000	176,000	69.57

##### 支出

(単位：円、税込)

予算科目	予算現額	当期執行計	執行累計額	執行率(%)
資本的支出	54,217,000	10,616,260	53,264,167	98.24
建設改良費	42,292,000	4,625,267	41,339,967	97.75
企業債償還費	11,925,000	5,990,993	11,924,200	99.99

【令和5年3月末 東秩父村簡易水道事業 損益計算書】

(単位：円、税抜)

費用の部		収益の部	
費用	130,698,484	収益	151,688,035
営業費用	127,610,353	営業収益	42,193,852
営業外費用	2,488,570	営業外収益	109,494,183
特別損失	599,561	特別利益	0
当期純利益	20,989,551		
合計	151,688,035	合計	151,688,035

【令和5年3月末 東秩父村簡易水道事業 貸借対照表】

(単位：円、税込)

資産の部		負債の部	
固定資産	1,457,488,968	固定負債	106,209,136
流動資産	19,385,898	流動負債	19,359,026
資産合計	1,476,874,866	繰延収益	999,702,296
		負債合計	1,125,270,458
		資本の部	
		資本金	307,456,000
		剰余金	44,148,408
		資本金合計	351,604,408
		負債資本合計	1,476,874,866

### 3. 令和5年度予算の概要

#### (1) 収益的収入及び支出（単位：千円、税込）

簡易水道事業収益	152,915
簡易水道事業費用	152,915
	0

#### (2) 収益的収入及び支出（単位：千円、税込）

資本的収入	78,490
資本的支出	104,391
	△ 25,901

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額25,901千円は損益勘定留保資金25,901千円で補てんするものとする。

### 4. 事業の経営方針

- (1) 長期的な事業運営を行うため、水道施設整備計画の策定や経営戦略の見直しを実施し、適切な投資・運営ができるよう努めていきます。
- (2) 浄水施設の統廃合等を行い、施設のダウンサイジングすることで支出の削減を目指します。
- (3) 安心安定した水を供給できるように施設や水道管の更新を行います。
- (4) 料金収入のみで事業運営ができる自立した経営を目指します。